

総合的な学習の時間 「みんなにやさしい町に」

川崎市立菅生小学校



単元（題材）目標

- 障がいのある方の生活に関心をもつ。
- 「バリアフリー」の概念を知る。
- 「みんなにやさしい町」のために、自分ができることを考えることができる。

（1）実施時期

11月

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 児童 143名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

学級担任

特別支援級担任（手話ができる）

（4）実施内容

- 国語科の「だれもが関わりあえるように」を学習後、点字体験、車いす操作体験、聴覚障がい体験や高齢者疑似体験をした。
- 手話ができる特別支援級担任が4年生に向けて手話を使ってビデオレターを作り、子どもたちが手話でのあいさつの仕方・指文字などについて知る機会になった。その後、神奈川県教育委員会から配付された「手話を楽しく学ぼう！」を使って自分の名前や簡単なあいさつを手話でできるように練習した。

（5）成果

- 自分の町にもだれもが安心して暮らせるような工夫が福祉の視点からたくさんあることに気が付くことができた。
- 自分が手話を学ぶことで、聴覚障がいを持つ方ともコミュニケーションがとれることを知り、興味をもつことができた。